

## 北ベトナム産のキベリハムシ

高橋 寿郎

御承知の通りキベリハムシ *Oides bowringii* (Baly, 1863) はホンコン原産で中国大陸の長江以南の地域には割合広く分布しているようであるが朝鮮とか台湾にいるのかどうか今の所よくわからない。最近の木元新作博士の論文 “*Chrysomelidae (Coleoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. V. Galerucinae*” (Esakia, No. 27, 1989) を拝見するとトンキン産で報告されている *Oides elegans* Laboissière, 1919, *Oides tonkinensis* Laboissière, 1929 が共に *Oides bowringii* (Baly, 1863) のシノニムになっておりキベリハムシはベトナムにも分布していることになっている。木元博士の論文ではベトナムでの具体的な産地は示されていない。

日本のキベリハムシは♀の單為生殖であるが中国大陸のキベリハには♂もいるとのことであるので(木元博士の御教示による) 何んとかこの方面のキベリハムシが入手出来たらなァと常々考えていた。

本年は日本人による北ベトナムでの採集が何人かの手によって実施されたことは二・三の情報で知っていた(例えば月刊むし No.233, 編集後記, 1990. その他)。

たまたま東京のF社から北ベトナムで採集したハムシのセットを別けるとの連絡を受けた。若しやと思ひ1セット注文して送って貰ったところ送られて来た20種30頭の北ベトナムハムシのセットの中に何んと1頭のキベリハムシが入っていた。思わずやっ海外のキベリハムシにお目にかかれたと喜んで居る。そこでF社へ電話をしてこのセットが残っているかどうかベトナムのキベリハムシが手元にないかと問合せた所今1セットが残っていると云って送ってくれた。こちらにもキベリハムシが2頭入っていた。結局3頭の北ベトナム産のキベリハムシが手に入ったわけである。3頭とも産地は TAMDAO, Vietnam 3~7・VII・1990となっている。筆者の所有している地図で搜して見たが余り良い地図でないのか(平凡社・世界大地図帳、1985) この場所がはっきりとわからなかった。この北ベトナム産のキベリハムシと神戸産の標本を比較すると次のようにはっきりとした違いがある。即ち神戸産のものは触角が黄褐色で末端の4節即ち8, 9, 10, 11節は黒色(第8節は第7節に近い部分が僅に黄褐色であるがほとんど黒色に近い)、ベトナム産のものは第8節は黄褐色部が多く黒色は先の方に僅かある或は半分位黒色と云う具合である)。また上翅会合線に沿って神戸産のものは黄褐色で縁取られている。即ち左右上翅は青藍色を黄褐色の縁取りで完全につつんでいるのであるがベトナム産のものは会合線にそって黄褐色部が全く無い。即ち各上翅は三方が縁取られ会合線部分は青藍色であると云う大きな違いがある。従って見た目にはベトナムのキベリハムシの方が神戸産より黒っ

ぼく見える。

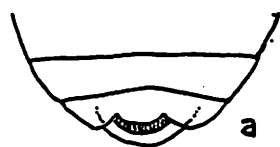
但し3頭だけの結果であるから或は完全に黄褐色に縁取られているものがあるのかもしれない。

そこでこの3頭と神戸産のキベリハムシとの腹部末端部を比較して見るとあきらかに神戸産とちがうのが2頭ある。そこでその内の1頭の交尾器を調べたところやはり交尾器はあった。即ち♂が2頭いたわけである。一応♂♀の腹部の図と♂交尾器を図示しておく。神戸産のものは標本が古くなると腹部が小さくなってしまって末端部が良くわからないものが多い。之は産卵後のものがこうなるのかもしれない。従って新しい標本でないとならば腹部末端部は良くわからない。一応今回調べたものはベトナム産も合わせて1990年採集のものである。

♂♀の違いは腹部末端部以外 S. Maulik は Oides 属の特徴として前・中肢跗節の第一節は後肢跗節の第一節より広がっていると云う特徴が種によってある様にかいてあるが (Fauna British India, Chrysomelidae, Galerucinae, P. 100, 1936), この特徴は余りはっきりとしない様でやはり腹節の目に見える最終節の形態がはっきりしている様である (即ち図の様に♂のそれは両側が斜に強く切れ込んでいる)。

何はともあれキベリハムシの♂を始めて見たので非常にうれしく此処で紹介した次第である。尚体長は余り違わないが♂はやや小さい感じがする。原産地ホンコン産 (タイプ標本も含めて) とか南中国の標本をもっと見なくては何ともいえないが日本産のものは大陸産のものと同様に上翅が完全に黄褐色に縁取られていると云った明瞭な相違があるのかもしれない (ベトナム産はやや紫色がかかった色彩もしている)。

(兵庫県甲虫相資料・243)



キベリハムシ

生殖節の外部形態

a. 雄

TAMDAD

VIETNAM

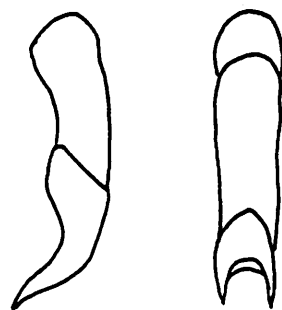
3~7・7・1990



b. 雌

神戸市鳥原産

9・8・1990



キベリハムシ雄交尾器

側面

背面

TAMDAO-VIETNAM

3~7・7・1990